



## 第1回NIBピックはつぐみちゃん

NIB 創立 10 周年記念大会第 1 回 NIB ピックは、4 月 8 日(日)満開の桜のもと「電車の見える公園」で行われ、ハンガリー代表つぐみがデンマーク代表はるみを下し、ベーゴマ世界の金メダルを手にした。3 位にはスウェーデン代表六角デビルが入り、何とか昭和時代の面目を保った。はからずも 10 周年で地元に戻った大会で、篠トモ、篠ケン、篠ヒデに会えたのも何かの縁、篠トモはもう大学 3 年生になっていたぞ。



六角デビル、つぐみ、はるみ おめでとう！

### 決勝戦はつぐみ対はるみの立川姉妹対決

構想 4 年、待ちに待った第 1 回 NIB ピックは、はるみ対つぐみの女流同士による決勝戦となった。しかも対戦を含め、この二人は四種競技も 1 位と 2 位だ。はるみは鉄人後藤、ルパン師岡、六角デビルを倒し、つぐみは中 G、怪鳥ギャオス、ヨッシー柴田を破っての頂上決戦だ。哀れ昭和時代はことごとく討ち死にという体たらく、なでしこジャパンといい、世の中大和なでしこが強いとう。

決勝 3 本先取勝負は、まず予選トップのはるみが先制する。乗ってるはるみの勢いは止まらない。ところが、2 本目にはるみが床はずしで 1 本失うと流れが変わり、つぐみがさらに取り返し 2 対 1 となる。しかし、ここで気を取り直したはるみが、攻め続け 2 対 2 のタイに持ち込む。五分と五分だ。固唾を呑んで見守る昭和の男たち、ふたりの戦いをただただ見つめるばかりだ。

ここまで来ればどちらが勝ってもおかしくない。勝負は時の運だが、今回は勝利の女神がつぐみに微笑み、つぐみが第 1 回 NIB ピックのチャンピオンとなった。破壊力のはるみと精神力のつぐみ、立川姉妹の戦いはまだまだ続くだろう。

### 四種競技ははるみちゃんが断然トップ

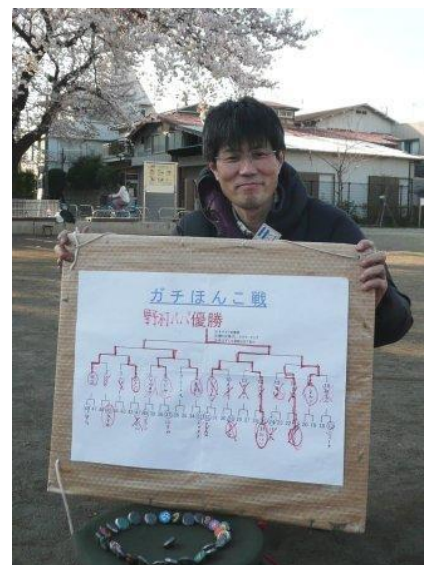
午前中行われた四種競技は、『1 分タイムトライアル』、『出せるかサンガン』、『成田エクスプレス』、『カマ掘りゲーム』の四つだ。1 分タイムトライアルは比較的やりやすかったのか、16 人が 55~60 秒未満で 5 点の高得点を挙げた。成田エクスプレスはガラベで、中 G、ダーリン立川、つぐみ、はるみの 4 人が 7 秒以内の 5 点。カマ掘りははるみが 12 点でトップ、2 位はルパンとヨッシーの 10 点だ。圧巻だったのは、出せるかサンガ



ンの鉄人後藤とその弟子コースケ。サンガン相手にパッカンが精一杯かなと思っていたが、このふたりが見事にサンガンを飛ばし 5 点を獲得した。合計得点でははるみが 24 点でトップ通過、2 位はつぐみの 20 点、3 位はデビルの 18 点だった。

## ガチホンコは野村パパが初の総取り

一発勝負のガチホンコから目が離せない。出会いがしらで勝負がつくことも多く、誰が優勝してもおかしくないのだ。今回は野村パパが、ハルク、オーカー、とーさん、まみいを破り決勝戦にコマを進め、第 1 回 NIB ピック王者のつぐみを倒しての初優勝だ。ベーゴマ総取りにご満悦の野村パパ。満開の桜が祝福しているようだね。



### NIB 祝 10 周年！みなさまのおかげですその 1

練馬板橋ベーゴマの会が産声を上げ、北町小学校で第 1 回の例会を行ったのが 2002 年 4 月 28 日(日)。その練板ベ一通信第 1 号によると、黒田雄介君や大竹達也君の名が見える。ふたりともすでに成人だ。まだヨチヨチ歩きだった会が、独自の 4 大タイトル戦を決め、その第 1 期ベ一王戦を行ったのが 6 月 15 日(土)。記念すべきその優勝者は、当時中学 1 年生だった下山竜之介君だ。北馬中邸はその頃から満身創痍だったし、チョット今村の髪はまだ黒々としていた。ハルクが初代名人となったのは 10 月 19 日(土)だ。日三鋳造所を訪問したり、日暮里の駄菓子屋街に仕入れに行ったり、いろいろなことをしてきた。暗中模索とはこのことだ。そこへ鉄人後藤が会の様子を見に来、松ちゃんが現れ、Mr. 高橋が登場し、夢宙人田口が参加するようになり、会は次第にその形を整えていったのだ。(つづく)

